

# キウイフルーツ雄品種の特性

## キウイフルーツ花粉ビジネスに適した雄品種の選抜

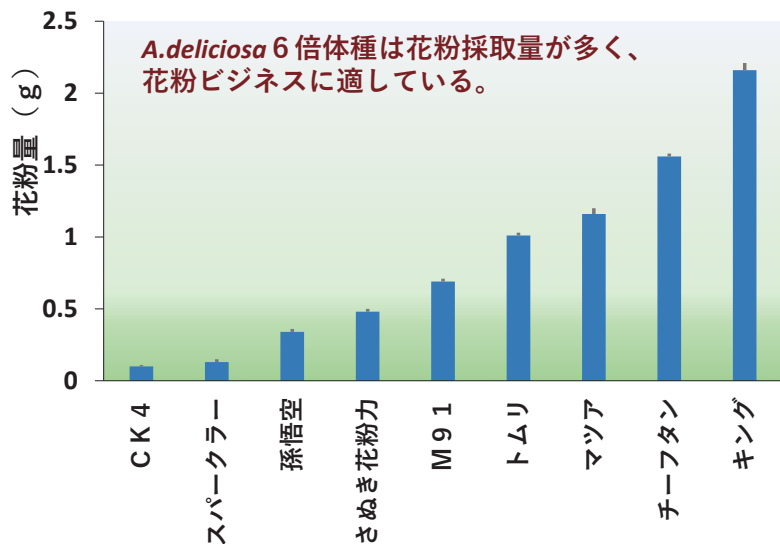
### 主要雄品種の開花日、発芽率、花粉量

表 開花盛期、花粉発芽率 (2018年)

品種名	開花盛期 (月/日)	花粉発芽率 (%)
<b>Actinidia chinensis 2倍体</b>		
スパークラー	4/25	60.6 ± 1.1
CK4	4/26	83.4 ± 1.3
<b>A.chinensis 4倍体</b>		
孫悟空	5/5	79.5 ± 1.2
さぬき花粉力	5/5	81.8 ± 1.6
M91	5/5	79.5 ± 1.1
<b>A.deliciosa 6倍体</b>		
キング	5/13	73.2 ± 2.7
マツア	5/17	85.5 ± 0.5
チーフタン	5/18	84.1 ± 2.1
トムリ	5/20	83.3 ± 2.4

注) 花粉発芽率: 平均値 ± 標準誤差 (n=5)

スパークラー、キングは発芽率が低い



注) 図中の縦線は標準誤差 (n=5)

図 花蕾100個から採取できる花粉量の比較 (2018年)

### 花粉ビジネスに最適なA.deliciosa 6倍体品種は？

#### チーフタン



#### 花粉ビジネスに最適

- 花粉収量が2番目に高い
- 花粉発芽率が80%以上と高い
- 中心花と側花の分離がよく、収穫しやすい。

#### マツア



#### 補完品種

- 花粉収量は3番目に高い
- 花粉発芽率が80%以上と高い
- 中心花と側花の分離がよく、収穫しやすい。

#### キング



#### 花粉ビジネスに不向き

- 花粉収量は最も多いが、花粉発芽率が低い(70%)ため販売用品種としては不向きである

#### トムリ



#### 花粉ビジネスに不向き

- 花蕾が密着する特性から、花蕾の採取効率が悪く、販売用品種としては不向きである。